

Publicity Report

新聞・雑誌・テレビ番組などで
紹介されたタツミプランニング
記事のご紹介



Tatsumi PLANNING

帝国ニュース 神奈川県版 2014年6月5日号掲載 (発行：帝国データバンク)



10 | 2014/06/05 thu.

TEIKOKU NEWS 神奈川県版

第三種郵便物認可

TOPICS

「建設に携わる職人を養成する学校」発足式

東日本大震災以降の復興需要や、2020年の東京オリンピック開幕による建設ラッシュを控え、近年建設業界では人手不足が叫ばれて久しい。

2014年2月の国土交通省による建設労働需給調査による労働者の確保に関する見通し（不足率）が、前年比で20ポイント近くも数値が上昇するなどいよいよ深刻化している。

そんななか、ガイズカンパニー（株）（横浜市港北区、企業コード・201462471）、（株）タツミプランニング（横浜市西区、201576928）、（株）グリーンビュー（川崎市多摩区、967339430）、（株）イーアンドイー・セントラル（東京都世田谷区、984592502）、（株）ディートレーディング（東京都中央区、987808732）、（株）ペアフルート（東京都豊島区、983978298）、（株）ジェイボックス（東京都国立市、970036031）は、「建設に携わる職人を養成する学校」を創るために、「一般社団法人 クラフツメンスクール」を設立（現在、登記申請中）。

設立の目的や、今後の計画などを発表するために、5月30日新横浜国際ホテル（新横浜）において発足式が行われ、メーカー各社、流通商社、工事各社、工事職人など約150名が集まった。

（株）タツミプランニング代表取締役の米山茂氏の開会宣言に始まり、ガイズカンパニー（株）代表取締役の仲本純氏によって、設立の趣旨や事業予定内容について説明がなされた。

また、建築業界の当面の雇用対策だけでなく、職人不足の抜本的解決には人材の発掘・育成・職業とのマッチングが重要な要素となると捉え、学校では職人不足の解決に止まらず、建築品質の向上、職人の新しいイメージの創出、日本が世界に誇る技術の伝承、さらには未来の建築文化の創造を目的に掲げ、訪れた多くの業界関係者に学校設立による建設業界への活性化に期待感を抱かせた。

初年度の2015年度は定員30名で、サイディング事業からスタート。翌年度からは屋根事業、シーリング事業などを拡大し、2018年度までには定員120名体制にしていく予定である。さらに将来的には職業訓練校の認定も受けることも目標に掲げている。

人手不足解消の手段として、海外からの人材導入など、様々な意見が飛び交っている昨今であるが、今後の建築業界において、足元の国内人材に注目し、発掘・成長させていくことが人材不足解消に止まらず、建築業界活性化への近道なのは間違いはなく、当スクールが今後のモデルケースとなることが期待される。



開会宣言を行う（株）タツミプランニング 米山代表



会場の席は多くの人で埋まった。
壇上は事業説明を行うガイズカンパニー（株） 仲本代表

建設業界の人材育成について、タツミプランニング代表 米山が理事を務め、関係各社で協力し進めているプロジェクト「クラフツメンスクール」が取り上げられました。